

# 町の課題解決 先進基地へ！



- ・平成20年 町立神川中学校廃校
- 神川地区公民館で活用方法を模索  
(合宿・そば打ち・公民館イベント)
- 平成27年 「錦江町まち・ひと・「MIRA」創生協議会」事務所進出  
(ふるさと納税事業・公営塾・移住定住事業などを担っている)
- 平成28年 総務省「お試しサテライトオフィスモデル事業」に採択  
入居企業募集の開始
- 平成30年「未来づくり課」事務所進出
- 平成30年8月 株式会社あしたのチーム 進出
- 令和3年7月 南州エコープロジェクト株式会社 進出
- 令和4年4月 NPO法人 たがやす 進出
- 令和4年5月 光陽オリエントジャパン株式会社 進出
- 令和4年7月 株式会社ソフィック 進出



## 旧神川中学校のあゆみ

## 模索する活用方法

平成20年に閉校となった神川中学校は、地域の方に愛され、合宿や公民館イベントなどに活用されてきましたが、管理の面で継続の利用が難しく、決定的な利用方法が見出せない状況が続いていました。

平成27年にふるさと納税の使い道を決める「政策提言コンテスト」を初めて実施。14歳の少年が提言した「2020年のオンラインピクニヤーには、人の役に立ってくれるロボットや電子機器などを町内にたくさん導入する」をヒントに、神川中学校活用に向けて動き出しました。

## 全国から人が集まる拠点へ

旧神川中学校を「地域活性化センター神川」と名称を新たに「オフィスビル」として設置し、都市部企業の田舎でのオフィスとして活用してもらう「サテライトオフィス」の構想が立ち上がりました。現在は都市部だけでなく、地元の企業も合わせて4社が入居。

短期間や1日だけのオフィス利用で訪れる人も多く、全国から人の集まる拠点となりつつあります。

## 企業誘致の想い

これまでの企業誘致では、大きな工場を誘致し雇用を増やすということが一般的で

## 特集

# ”ありのまま”で人・知恵が集まる場所 ～旧神川中学校の今～

平成20年に廃校となった旧神川中学校を再活用している「地域活性化センター神川」は、錦江町の玄関口として町内外から人が集まる場所となっています。その魅力をお伝えします。



した。しかし、近年ではパソコン一つあればどこでもできる業種の方も多くなり、転職なき移住も可能となりました。

そこで、場所にとらわれない働き方をする方や企業の拠点として、サテライトオフィスの設置誘致を進めています。

錦江町に実際に訪れて仕事をした方からは、「地元の人との交流が一番に残っている」「飾らないところがいい」という多数の意見がありました。そのことから来町者にとって、年中青々とした照葉樹の森や夕日が美しい海岸線などの自然環境だけでなく、人が心から満足するには、社会貢献や人との交流が本質的喜びにつながるのではないかと考えています。錦江町では過疎化が進み、課題が山積みとなっています。課題解決のために、体験プログラムの実施や来町者に町の現状・政策の想いなどを伝えることで、共感いただき関係性を構築するようにしています。

このように続けてきた関係性の積み重ねが、小児科オンラインやMIRAー寺子屋塾（公営の塾）などの事業の実施につながっています。



錦江町役場 未来づくり課  
久保 伸一 チームリーダー



入居企業の方々にお仕事内容や錦江町での働き心地についてお問い合わせしました。

## 入居者コメント

### 特定非営利活動法人たがやす 代表理事 馬場 みなみ



私たちは2021年4月の設立と同時に入居し、主に農福連携や認知症フレンドリーに取り組んでいます。6月からは事務所と併設して、みんなの図書館設立「本と一筆」を開館しました。誰でも本を借りることができ、くつろげるスペースになっています。学校という入りづらい場所ではありませんが、どなたでも気軽にお越しただけたら嬉しいです。

### 南州エコプロジェクト株式会社 大野 徹



現在、南州エコプロジェクト(株)では、福岡や大阪から移住してきた5名の従業員で大隅地域の遊休農地・耕作放棄地を活用しながら、国産濃厚飼料(とうもろこし、麦、大豆等)を生産しております。錦江町に移住して1年半が経ちますが、今でも出勤の際に見える、錦江湾と開聞岳、そして夕日が私の好きな景色です。

### 光陽オリエントジャパン株式会社 会長 清藤 隆雄



私は58年前に田代中学校を卒業して東京に就職しました。当時は4クラス150名の同級生がいましたが、今では3学年合わせて37名。山川に変化は無くとも人口減少による過疎化には「どげかせんといかん」という感情が芽生えたのが進出の動機です。情熱と執念をもって「職場はローカル、仕事はグローバル」の心意気で地場の特産品を海外に販売することを通じて、錦江町の活性化に尽力したいと考えております。

### 株式会社ソフィック 代表取締役 塔筋 幸造



ソフィックは建築用ソフトウェアの会社です、最も重要な経営資産は「人」です。「人」が働きやすい環境を求めて探していた時に巡り会ったのが『錦江町』なのですが、魅力は錦江町の「人」でした。実際に業務を推進していくと、「安心」にたどり着きました。心が安まる錦江町はとても良い町です。

※入居企業の詳細はホームページをご覧ください



## 「地域活性化センター神川」利用案内

【開館時間】 8:30～22:00 (事務所 8:30～17:15)

【休館日】 12月29日～1月3日

【利用場所】 コワーキングスペース (2部屋) / 屋外オフィス (個人でのパソコンワークや会議に利用できます)

【利用料】 600円 / 1日 (1名)

※貸切をご希望の場合は、ご相談ください。

※地区公民館が主体となってご利用になる場合もご相談ください。

いつでも見学など  
お待ちしております！



<お問合せ>  
未来づくり課  
電話 0994-25-1001  
錦江町神川 3306-4 旧神川中学校内



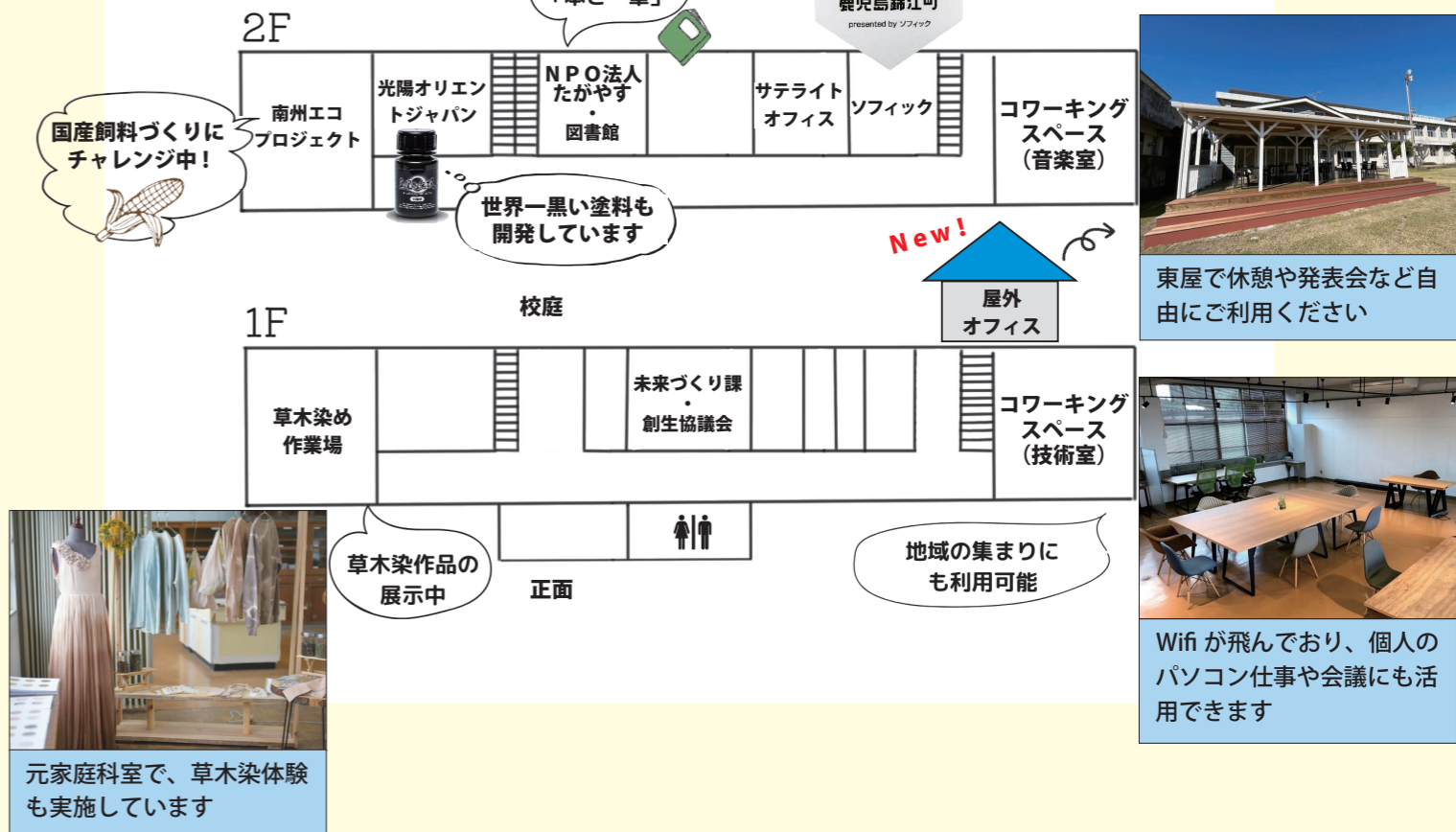
図書室では、集いの場としてミニイベントも実施。

図書室  
「本と一筆」



リラックスしながらお仕事  
できます

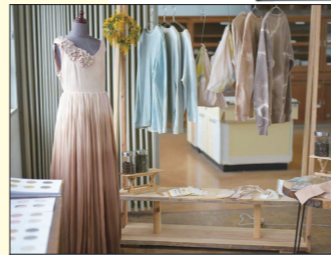
## 館内図



東屋で休憩や発表会など自由にご利用ください



Wifiが飛んでおり、個人のパソコン仕事や会議にも活用できます



元家庭科室で、草木染体験も実施しています

## 地域活性化センター神川での交流がもたらしたもの

### ①町内外者との交流により新しいビジネスチャンス

サテライトオフィスとして進出するだけでなく、短期的に滞在して地域活性化センター神川を仕事場として多くの方が活用しています。滞在中の交流から町内事業者との取引につながることや、来町者が町内の方と交流を行うことにより新しいビジネスの発想を生み出すなどの効果があります。

### ②新しい取り組みへのヒントを得る機会

錦江町で新しい取り組みができないか、来町された方と面談してヒントを得る機会としています。今までにMIRA | 寺小屋塾の開設やアニメーター体験教室の開催など、町内だけではできなかった課題解決や新しい取り組みに踏み出す機会を得ることができるようになりました。

### ③雇用による移住や帰郷 ～Uターン7名～

現在、地域活性化センター神川に入居している4社は、町外からの雇用やUターン者の採用を積極的に取り組んでいます。南州エコプロジェクト株式会社では移住者5名、光陽オリエントジャパン株式会社では移住者1名とUターン者1名を採用しており、若い世代の人口増加にも大いに貢献しています。